



平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ナ ッ ク
代 表 取 締 役 社 長 吉 村 寛
(コード番号 9788 東証第 1 部)
問 合 せ 先 ビジネスサポート本部長 川上 裕也
(TEL. 03-3346-2111)

配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期の期末配当予想について、下記のとおり、修正することを決議いたしましたのでお知らせします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 29 年 5 月 12 日公表)	前期実績 (平成 29 年 3 月期)
基 準 日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 3 月 31 日
1 株 当 たり 配 当 金 (期 末)	0 円 00 銭	19 円 00 銭	8 円 00 銭
年 間 配 当 金 総 額	—	—	452 百万円
効 力 発 生 日	—	—	平成 29 年 6 月 30 日
配 当 原 資	—	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、積極的かつ、長期にわたり継続的・安定的に利益還元を行うことを基本方針として、具体的数字基準を「連結純資産配当率 4%」、ただし「配当性向 100%以内」としております。

しかしながら、住宅事業を取り巻く市場環境は厳しさを増しており、住宅事業の中核子会社レオハウスにおいて、売上高は前期比で増加する見込みであるものの、建築資材の高騰や職人不足を背景として建設コストが増加しており、更に大雪など悪天候による引渡し予定物件の遅延が発生する予測となりました。その結果、同社に係る固定資産の更なる減損損失の計上及び繰延税金資産の取崩しをせざるを得ない見込みとなりました。

これらの状況を鑑み、来期以降の収益改善および経営効率の改善を図る目的で同社の拠点のうち 20%前後の不採算店を統合または撤退を進める予定であります。それに伴い、統合および撤退に対する費用が見込まれます。

平成 30 年 3 月期の連結業績予想数値につきましては、平成 29 年 11 月 10 日に公表した数値に対し、クリラ事業やレンタル事業が堅調に推移している一方、主として上記住宅事業の要因により連結業績が予想を下回り、不採算店の統合および撤退に係る費用も見込むことにより、平成 29 年 11 月 10 日に公表した数値について、営業利益は 2,000 百万円に対し 1,500 百万円前後、親会社株主に帰属する当期純利益については 550 百万円の利益予想から、当期純損失 1,000 百万円前後の計上が予想されます。

このような状況を鑑み、平成30年度3月期の期末配当は、上記の基本方針に定める連結業績水準を確保できないため、誠に遺憾ではありますが無配とさせていただくことといたしました。

なお、平成30年3月期通期連結業績予想につきましては、固定資産の減損損失額、繰延税金資産の取崩額ならびに統合および撤退に係る費用を含むレオハウスならびに住宅事業の業績予想について、現在精査中であり、確定次第、速やかに公表させていただきます。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績 ※期末及び年間は予定	18円00銭	0円00銭	18円00銭
前期実績 (平成29年3月期)	19円00銭	8円00銭	27円00銭

以上